

「事業性フォーマット」に盛り込むべき観点 (イメージ)

■基礎情報

- (1) 道路・交通（道路構造、道路管理、混在交通対応、拠点に必要なスペース）
- (2) 地域環境（人口構造、気象条件、通信条件）

■アンケートの結果

(1) 社会受容性

①属性情報

- ・性別、年齢、職業、よく使う移動手段、運転免許の保有状況
- ・自動運転車両を利用したいか

②利便性

- ・利用目的（活用シーン；通勤、通学、買い物、通院、行政手続、友人知人との面会等）
- ・利用区間（自宅からバス停、バス停から病院、自宅から病院）
- ・利用頻度
- ・利用時間帯
- ・利用したい天気・曜日
- ・属性別データ（年齢別）
- ・運賃（いくらなら利用するか）

③快適性

- ・自動運転車両に望む装備（エアコン、椅子、ノンステップ車両、窓の有無、屋根）
- ・乗り心地

(2) 地域への効果

- ・高齢者の外出機会の増加
- ・観光客の増加
- ・物流の活性化・効率化

■コスト

(1) 車両の導入・維持コスト

(2) 車両以外に必要なコスト

- ・運用の為の人員
- ・インフラ整備

(3) 収支見込み

- ・運賃目安見込み

※上記以外の必要な事項については、適宜アンケートに盛り込むこととする。